

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 14 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and financial position. Includes details for '真壁図書館管理運営事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (真壁図書館の運営及び施設維持管理) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (運営業務, 維持管理業務).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends. Columns include: ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), ③意図 (成果指標). Rows include '購入冊数', '利用者数', and '貸出冊数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume trends for fiscal years 03 to 07. Columns include: 03年度 (実績), 04年度 (実績), 05年度 (計画), 06年度 (目標), 07年度 (目標), and 期間限定総投入量.

Table showing internal costs for fiscal years 04 and 05. Columns include: 04年度事業費 実績 (千円) and 05年度事業費 予算 (千円). Rows list various cost items like '報酬', '職員手当', '旅費', etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table showing implementation content for fiscal years 05, 06, and 07. Columns include: 05年度の事業内容, 06年度の事業内容, and 07年度の事業内容. Rows describe activities like '図書館運営', '蔵書整理', 'レファレンス'.

事務事業名	真壁図書館管理運営事業	事務事業No.	20203000643	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
図書室委託事業として開始。平成9年よりボランティアとして協力いただいた方を、平成16年度から委託事業としてシルバー人材センターからの派遣で図書事務に従事、平成23年度で委託事業終了。平成24年度から真壁伝承館内の真壁図書館運営事業としてスタートした。平成23年度から図書システム導入により、貸出、返却、資料管理等スムーズに行えるようになった。平成28年10月で図書システム機器等契約更新し機器はリースとし、読書手帳を導入した。令和3年10月再度システム更新。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成23年度の9月より真壁伝承館真壁図書館として運営している。利用者からは、システムによる図書の貸出や予約、リクエスト、資料の提供などスムーズに行えているため大変好評である。また、平成28年度10月からの読書手帳導入も好評である。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 乳幼児から高齢者まで利用ができる図書館の運営は、生涯学習の場として結びつくものである。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 図書館は住民のあらゆる資料要求に応える、地域の資料センターとしての役割を担うものであり、住民全ての知の拠点として欠かすことのできないものであることから、市が整備・運営するのは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 図書システムの導入により、インターネット環境があれば資料検索が行える。現在は、真壁図書館のみのシステム稼働であるが、令和6年に開館予定の新図書館とシステム連動し、より良い図書館運営が可能となる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 図書館として多くの利用者が来館し、滞在時間も長くなっている。2階学習室・閲覧室は、一般・学生等の利用しているため、廃止・休止の影響は大きい。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 一般的に幅広く身近に利用できる施設がないため統廃合・連携はできない
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 利用者の求める資料や情報を幅広く提供するためには資料費等の削減余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 資料提供や図書の貸出等無償であることから公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	閉架書庫の容量が少なく蔵書が飽和気味であるため、定期的に蔵書の見直し(処分)を行う必要がある。 令和2年度より電子図書館システムを導入し、コンテンツ購入費3,270千円を計上したため、書籍の購入費が約2,000千円⇒1,500千円に減額となった。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	コスト			削減	維持	増加	向上			○	維持			×	低下			×
成果	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上			○																			
維持			×																			
低下			×																			
・令和6年開館予定の桜川市立図書館と連携することで、幅広い利用者への資料を提供できると思われる。 ・開館以来トーハンMARCを使用してきたが、納期や購入書籍の制限などに問題を抱えてきたことから、令和5年度にTRCMARCに変更を予定。これにより発注した書籍の早期導入、確実な新刊導入が可能となる見込である。		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認